



令和2年元旦。
きぼうアジア
研修センター
屋上から望む
初日の出。

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎えると同時に寒さが厳しくなっていますが、実習生の皆さんは元気いっぱい、新年1月2日（木）から、日本語学習に励んでいます。凍えるような寒さの日もありますが、研修センター中庭の朝のラジオ体操も、皆さん上着を脱いで、元気に頑張っています。新年最初の授業では、実習生の皆さんが、今年目標を発表し合う姿が各教室で見られました。私ども日本語講師・スタッフ一同も、今年も技能実習生のための実践的な日本語力の育成のために、厳しく、そして時には優しく、実習生の皆さんと向き合っていきたいと思いますので、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

あじけんスコープ Vol.82 ~実習生の皆さんが書初めをしました~



実習生の皆さんが、授業で、新年の書初めをしました。お題は、今年の干支にちなんで子年（ねどし）。子年は十二支が始まるスタートの年。実習生の皆さんも、これから始まる日本での技能実習のいいスタートが切れるといいですね。

皆さんの作品は、栃木校4階の実習生作品展示コーナーに展示してありますので、ご来校の際は是非ご覧になってください。

昨年からはまったこの展示コーナー、実習生の皆さんの作品を中心に今年も積極的に活用していきたいと思っています。

今月の実習生



I KADEK DODIK RIANJAYA (ドディク) さん

今月はインドネシア人実習生の I KADEK DODIK RIANJAYA (ドディク) さんを紹介しします。ドディクさんは、昨年私達がバリ島の日本語学校視察に行った時には、現地の学校で日本語講習中の実習候補生でした。右下の2枚の写真が当時の写真です（あじけん通信 2019年11月号に掲載）。現地の教室での熱心な態度が際立っていたドディクさんが、昨年末に念願の来日を果たし、現在当校で生き生きと日本語学習に取り組んでいます！ 夢が叶い無事来日を果たしたドディクさん。本当に夢を叶えるのはこれからです。今の気持ちをいつまでも持ち続け、これから始まる技能実習を頑張ってください！

はじめまして、私はドディクと申します。インドネシアのバリから来ました。今私は日本にいます。日本でじゅうせいになりました。高木交のとき、私はインターネットで日本について、きれいなところ、いろいろなことを見ました。たとえば、綺麗なところや日本人のせいかつやしごとのはかたなどです。ですから、私は日本へいきたいです。そして今私は日本にいます。私のゆめがかんないました。日本はほんとうにきれいなくです。どこでもごみやありません。日本人はよくをとてもまわります。そのことを私はほんとうにしたいです。ろかんかん私は日本にいて、そしてくにへかえり、私はいい人になるはずとです。私はほんとうに日本かとてもすきです。



あじけん流日本語授業

～介護実習生への日本語指導～

今月のあじけん流日本語授業は、昨年から受け入れが本格的に始まっている介護実習への日本語指導の様子をご紹介します。

介護実習生の日本語指導は、一般実習生のカリキュラムとは異なり、介護現場の現状に即した内容で組まれています。その中で今回ご紹介するのは、日本の年中行事を扱った学習項目です。

介護に従事する外国人技能実習生にとって、日本の年中行事についての理解を深めることは、施設の利用者の方々との話題作りに欠かせない知識となります。また、高齢の利用者の方々にとって、年中行事や四季折々の話題に触れることは、時間や季節を意識することになり、認知症の予防にも繋がると言われています。

今回は、数ある日本の年中行事の中から、初詣等で神社へ参拝する時の礼儀・作法を扱った授業を紹介します。授業では、先ず教室で資料（動画教材）を用いて、手水（ちょうず）や参拝の作法を学習します（写真1・写真2）。その後、実際に地域にある神社に行って参拝体験をします（写真3・写真4）。教室で学習した知識（インプット）を、実際の行動に移すこと（アウトプット）で、知識の定着が強くなるので、とても効果的な学習活動となっています。



写真1：動画で手水の作法を学ぶ実習生の皆さん

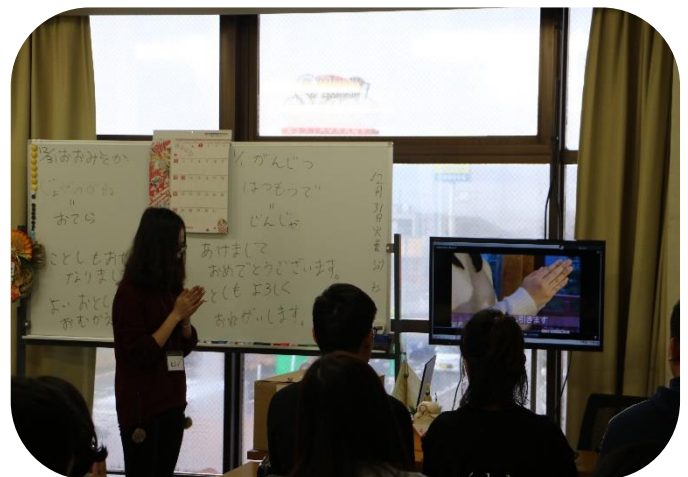


写真2：動画を真似ての参拝練習



写真3：本物の手水にチャレンジ！



写真4：いよいよ、日本の神様へ参拝

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧に